

5 歳児クラス < 4 月 ふしぎなフクロウの森 >



やさしいK-ART

テーマ《「ふしぎなフクロウの森」ワーク》

三原色アートの上級プログラムです。最後に木とフクロウをつけることによって、広い空間と不思議な世界観が広がります。

< テーマを決める >

題名から発想して「ふしぎなフクロウの森」を表現する

- ・色の混色を通して「ふしぎ」を表現する
- ・サイズ遠近法を使って空間（森の広がり）を表現する

< 問いを考える >

○題名（テーマ）から発想してイメージを描くって？

結構いろいろなところで使われている。

たとえば、みんな大好きなポケモンのキャラクターもそうだよ。

どういうモンスターか？というテーマがあって、あのキャラクターができあがっているよ。

「のんびり・大きい・食いしん坊・動かない・安心感のある存在」

丸くて大きいぬいぐるみ感が安心感のあるイメージを見た目にしているよね。

○色に関する問い

- ・世の中の色は、青・赤・黄の三原色＋白の4色でほとんど作れるんだよ。知ってる人！
- ・ふしぎな色ってどんな色だろう？
- ・見たことがない色って作れるかな？
- ・赤・青・黄色・白を混ぜると、どんな変化が起きるかな？

○空間・構成に関する問い

- ・この森はどれくらい大きいのかな？
- ・木を大きく見せるにはどうしたらいいと思う？
- ・小さいフクロウはどこに貼ったら遠くにいるように見えるかな？
- ・近くと遠くって、どう違って見える？

< 環境をデザインする >

- ・三原色＋白に限定することで「気づき」が生まれる。
- ・フクロウの形に切ったシール
- ・木の形に切ったシルエットパーツ
- ・意図を持って制限をすることでこどもの考える力が育つ
- ・大きいものをより大きく、小さいものをより小さく見えるようにするための材料を準備する。

1. キャンバス
2. キットパス 3 原色＋白
3. 鉛筆
4. 木パーツ
5. フクロウシール
6. ボンド
7. ベビーパウダー



5歳児クラス <4月 ふしぎなフクロウの森> 実施報告



年長：4名《ふしぎなフクロウの森》

見本を見せると「わあ〜！」と歓声が。

「なにを使って塗ってるのかな？」「絵の具？」「クーピー？」などの声が。

最初に行った線を引く工程で、すんなりと線を引けました。線によって生まれる複数のスペース(部屋)を塗る工程では、年中さんと同様に三原色(赤、青、黄)と白のキットパスを使い、色作りに挑戦しました。色を重ねたり、指で伸ばしたりする中で「むらさき色ができた!」「こっちはグレーだよ!」と変化を楽しみ、「不思議な色になってきた〜!」と目を輝かせながら喜ぶ姿が見られました。

また、「どうやったらエメラルドグリーンになるの?」と友達に尋ね、「最初にこれを塗って、次にこれを塗っていくとできるよ!」と教え合うなど、友達同士で関わりながら学ぶ様子も見られました。

木のパーツはボンドで貼り付け、フクロウのシールは自分の好きな位置を考えて配置し、完成。

自分の作品を見て、とても満足した様子でした。それぞれの個性が出て、素敵な作品となりました。

